

## いるまし電子図書館 利用状況について

令和3年6月から開始。10代から40代の子育て世代を主なターゲットとする。

- ・ 蔵書冊数 1,003冊 (令和3年12月31日現在)
- ・ 登録者数 1,205人 (令和3年12月31日現在)
- ・ 利用の傾向(年齢層など)

未就学児から80歳代まで、幅広い層に利用されている。特に70歳代以上の利用者多いのが、入間市の特徴。

- ・ 電子図書館のメリット

利用者・・・来館することなく、ネット環境さえあれば、いつでもどこでも図書が読める。

自動返却なので、返し忘れがない。

文字サイズ拡大機能や音声読み上げ機能で、読書困難者や高齢者にも本が読みやすい。

図書館・・・自動返却なので、督促する必要がない。

蔵書スペースが不要。

汚破損、書き込みの恐れがないため、修理が不要。

- ・ 電子図書館のデメリット

利用するにはネット環境が必要。出版されているコンテンツが少ない。

- ・ 現在、指定管理業者が自主事業として運営しており、指定管理料からコンテンツ費をまかなっているため、急激にコンテンツ数を増やすことがむずかしいが、今年度中に約500冊の増加予定。

### 令和3年★貸出ベスト

- 1 「定年からの青春未来図」坂口克洋/著 三和書籍 (人生訓・中高年齢者)
- 2 「フォトジェニックTravel 日本じゃないみたい！」JTBパブリッシング  
(紀行・案内記)
- 3 「動機」横山秀夫/著 文藝春秋 (日本の文学)
- 4 「所沢Walker」KADOKAWA (紀行・案内記)
- 5 「かがみの孤城」辻村深月/著 ポプラ社 (日本の文学)